

保育おおさか

No. 491

平成 28 年 7 月 1 日

発行人 永野 治男 編集人 齊藤 和正

大阪府中央区中寺 1 丁目 1-54

TEL.06-6762-9001 FAX.06-6768-2426

<http://www.ans.co.jp/u/osakahtoiku/>

今こそ保育園・認定こども園の底力を



保育部会 部会長
永野 治男

「子ども・子育て支援新制度」の施行から一年が経過しました。大阪府では、全国平均を上回る速度で、認定こども園への移行が進められております。これは、誠に喜ばしいことであります。昨年度、NPO 法人として「全国認定こども園協会大阪支部」が発足されましたが、今後、私ども保育部会と相互に連携を深めながら、一体となって邁進していくことが必要です。

また、幼保連携型認定こども園の

保育教諭の資格取得支援として、相愛大学様のご尽力により、「幼稚園教諭免許状取得特例講座」の開講が実現いたしました。募集に際しては、児童施設部会や大阪市私立保育園連盟の各会員施設にも広く呼びかけました。引き続き、すでに幼稚園免許状を取得されている方を対象とした免許更新講習についても取り組み、幼保連携型認定こども園へのスムーズな移行をサポートして参ります。

一方、本年 4 月に施行された「社会福祉法等の一部を改正する法律」により、社会福祉法人制度は足元から見直しが進められております。議決機関としての評議員会の必置、一定規模以上の法人における会計監査人の設置義務化、内部留保の内容等の明確化等、今年度内に議論と対応を迅速に進めていく必要が、あります。

保育部会としましては、これらの制度対応に対し重層的な研修を計画し、すべての会員施設が的確に対応できるよう情報提供に努めてまいります。

とりわけ今後、社会福祉法人には「地域公益活動」が義務化されます。しかし、私ども保育部会では、地域貢献支援員（スマイルサポーター）による相談援助という類を見ない地域活動を実践しています。今こそ「大阪しあわせネットワーク」へ積極的に参画し、社会福祉法人として一致団結して、保育園・認定こども園の底力を見せようではありませんか。

平成28年度 保育部会総会開催

5月26日（木）ホテルモントレグラ
スミア大阪で平成28年度保育部会総
会が行われました。（関連記事 1・2 面）

第 I 部 式典

総会の式典では、5 年勤続感謝状の贈呈が行われ、梶村綾花さん（赤坂台保育園）が対象者 520 人の代表として感謝状を受け取られました。つづいて、「地域貢献支援員（スマイルサポーター）」大阪府知事認定証授与式も行われ、新たに 190 人が地域貢献支援員として認定。中岡恭子氏（大阪府福祉子ども室室長）から、代表して福崎しのぶさん（たちばな保育園）に認定証が授与されました。

認定証を受け取られた皆様のこれからの活躍を期待しています。

（2 面につづく）



左：5 年勤続受領者梶村さん
右：スマイルサポーター認定者福崎さん

普段の園長業務で、自分子どもたちに色々なバトンを渡そう、未来を託そうと心がけている。畑仕事を手伝いながら、祖父から大きなバトンを手渡されつつあるのかなと感じた。先人から受け継がれてきたことを、大きなバトンとして受け取り、私はそれを子どもたちに少しでも渡すことができる立場にいる。日本の未来のため、努力を重ねようと思う。（編集委員 R・T）

今年に入り、祖父が腰を痛めた。祖父は理事長の仕事をしなから、趣味の畑仕事を食育のため、子どもたちのためにしている。当人が動けない代わりに自分が畑仕事を手伝うことになった。土作り・種まき・世話・収穫、野菜によりそれぞれルールが違ってくる。毎日ご教授願ひ、子どもの喜ぶ顔を思い浮かべながら汗を流す。作業中に、まだまだ祖父から教わっていないことはたくさんあるのだなと、ふと思った。指示を出す当人を見ると、背中が少し丸くなり、足元に力が入らなくなっており、この先ずっと元気でいると思っていた祖父の身体が少し小さく感じた。



第Ⅱ部 記念講演

● 社会福祉法改正の行方



関川芳孝氏

総会の記念講演では、大阪府立大学地域保健学域教育福祉学類長の関川芳孝氏が講演。

社会福祉法改正の最大のポイントは、「非課税にふさわしい社会福祉法人の経営組織とはどうあるべきか」にあると指摘しました。本改正では民間企業とは異なる福祉経営の役割に対し、公益財団法人に準拠する仕組みが取られます。

保育経営に最も影響のある改正事案として関川氏は「評議員の必置」をあげます。改正案では、評議員会を議決機関に据え、社会福祉法人の経営が公益目的から逸脱していないか監督するとしています。

一方、理事会は執行機関とすることにより、義務違反があれば債務不履行によ

り、損害賠償責任までも発生する場合もあり、理事の職務責任が従来と比べ一層厳格化されます。

また、社会福祉法人は民間企業とは異なり利益をどのように地域福祉に還元するかが問われます。そこで社会福祉充実のために確実に活用される仕組みをつくることを目的として、内部留保算定のルールを定めています。これにより、多くの社会福祉法人において内部留保が存在しないことを明らかにすることが必要です。

今後の社会福祉法人のあり方として、より地域に貢献できるようスマイルサポーターの取り組みの重要性を関川氏は強調します。また、スマイルサポーターに対する園長の協力も不可欠です。

「社会的な支援が必要な人に向きあうのは、スマイルサポーターの仕事ではなく、スマイルサポーターを抱えている施設、社会福祉法人の仕事であることを改めて明確にしていただきたい」と強調されました。

(事務局)



環境にあわせた迅速な対応を

調査研究委員会では、社会情勢の変化に伴う保育所運営に必要な情報をいち早く取り上げ、調査研究を進めるとともに法人・施設の運営や保育士の技術向上を図る研修会の企画実施や周知活動にも取り組んでいます。

特に今年度は多くの保育園の運営主体である社会福祉法人の制度改革に関する法案が議決され、評議員会の設置など、より公益性のある運営が求められます。委員会は東京での研修などをを行い、一層の研鑽・情報発信をしてまいります。

このような委員会全体での活動とともに、子育てに係るさまざまな課題に対して、各分野に特化した小グループを編成し、スピード感を大切に活動しています。調査研究委員会の活動を以下に紹介します。

制度研究グループ

会員の保育園および認定こども園が確実な情報を獲得し、相互の情報交換を行いながら、国および地方版の子ども・子育て会議と各分野での議論を追いながら整理していきます。また、平成29年4月1日から施行される社会福祉法人制度改革について、公益的で社会から認められた法人運営を円滑に行えるように国での議論を整理していきます。

子どもの安全研究グループ

新制度における特定教育・保育施設での事故発生や再発防止をする措置。事故が発生した場合、市町村、家族等に対する連絡等を講じる必要があります。昨年に引き続き「重大事故の再発防止策に関する検討会」の議論を含む、子どもたち

の安全安心向上につながることに伴って研究し、情報提供や啓発活動を行います。

よい子ネットサポート・研修グループ

保育部会が運営するよい子ネットをより使いやすいものにするため、アプリ対応や情報発信能力向上にむけたSNSとの連携の模索をラジオ関西と協議を行います。事業運営のサポートや操作説明会を開催し、普及にも努めてまいります。また、社会情勢に応じた研修会の企画立案、実施をします。

労務管理グループ

雇用形態が多様化し、職員を雇用する上で留意しなければいけないことも多様化しました。留意するポイントを整理し、その法令遵守を呼びかけていきます。また、書類作成用のソフト

を作成・改修し、業務省略を目指しています。

資料集編纂・電子化グループ

各市町村の子どもの人口動態や補助金状態を知ること、自園をとりまく状況を把握し、現状と今後の変化を予測、施設運営を行う上での材料となる資料の作成を目指します。また、委員会の中でも資料集を分析し、活用方法の例を示し、加盟園に対して資料集活用を促進していきます。

「保育おおさか」の連携グループ

これまでにあげた小委員会での活動を保育部会会員に知っていただくために、保育部会の広報誌である「保育おおさか」と連携し、調査研究委員会で研究や議論をしたことを内外に周知するための広報活動を行います。

調査研究委員会は保育を取り巻く環境の激しい変化にも迅速に対応した調査研究活動を今年度も実施していきます。

(調査研究委員会T・T)

大 東みのり保育園は大東市の北東部、深北緑地の近くにあります。昭和52年4月に開園され、定員60人。

「子ども一人ひとりを大切にし、保護者からも信頼される保育園を目指す」を保育理念におき、保育方針は、家庭的な雰囲気の中で「愛育」によって個人の能力を引き出し、①あいさつのできる子②「ありがとう、ごめんなさい」と素直にいう子③自ら考え、自ら判断して行動のできる子を3つの柱にしています。

徒歩10分ほどにある深北緑地によく出かけて遊具等

「愛育」で個人の能力を引き出す

季節の行事

5歳児ならではの特別な体験を

保育所
だいたう

大東みのり保育園

大東市



高速もちつきを伝授

で遊ぶのですが、普段から4、5歳児合同で保育することもあり、年長児がリードして一緒に手をつなぎ歩きます。緑地には3つの広場があり、のびのびと遊んでいます。

子どもたちが楽しみにしている行事のひとつに餅つきがあります。園長のお知りあいの「高速もちつき」をされる方をつき手にお呼びし、目の前で迫力ある餅つきを見せてもらいます。5歳児は餅つきもします。普段体験できない伝統行事を間近で見られる特別な時間になっています。

豆まきも、印象的な行事のひとつです。園長や保育士が鬼になる園は多いと思いますが、当園は保育士たちの鬼に加えて5歳児も「子鬼」となって全員が、加勢します。4歳児以下の子

どもたちが楽しんでいるのですが、それも5歳児ならではの体験でうれしいようです。

大きな窓から明るい日差しが園舎内にふりそそぎ、子どもたちの笑顔も明るくキラキラしていました。

(編集委員A・O)



子鬼が勢ぞろい



保育園・認定こども園をたずねて

541

社会福祉法人やまびこ会三宝妈こども園は、平成27年4月1日から幼児連携型認定こども園に移行。「園児の美しい心、健やかなからだ、豊かな夢を育てる」という理念のもと、教育・保育を実施されています。生きる力の醸成や保護者との信頼関係の構築に重点を置き、地域に愛され保護者とともに良い保育を目指しています。

新たな取り組みに4歳児クラス、5歳児クラスを対象に体育指導とあわせて剣道の講師を招き、健全な精神を育み、礼儀作法や決められた所作を通して、社会のマナーやルールを守るという意識の向上や、自制心・集中力といった自己をコントロールする力を養うことを狙いとしています。

園を取り巻く環境は、堺市の工場地帯に近いこともあり、大型トラックの通行が多く、子どもたちにとっては危険が多い地域です。また、光化学スモッグやPM2.5には毎日注意しています。これらに対して、職員間で十分なリスク検討を行い、園内はもちろんのこと、散歩等の園外における注意点や危険箇所の確認等を行い、子どもたちが元気いっぱい遊べるよう、園外活動を十分に楽しめるように配慮されています。

保育内容の改良に積極的に取り組む

保育教諭であるという意味

幼保連携型認定こども園

さんぽう

三宝妈こども園

堺市



園舎外観

幸

保育園は和泉市初の公立民営化により、平成16年度から和泉幸生会が定員120人で運営している保育園です。

正門すぐの園庭には、夏の暑い時期にも戸外遊びが存分に楽しめるよう、大きなUV（遮光）ネットが張られているのがとても印象的。

また「すべてのこどもが一人ひとりのちがいを大切に、互いに育ちあう仲間づくりを」という保育目標のもと、いろいろな経験をさせてあげたいと、音楽指導や鼓笛隊・スイミングに加え、今年度からは「英語で遊ぼう」と題したネイティブの先生による、英語

「豊かな感性・自分が好き・友達が好き・地域が好き」を柱に、公立園時代から地域の機関や人々とのつながりを大切にしています。毎年地域の伝統行事「だんじり祭り」にも園から参加。祭りの前後は園内でも「そーりゃ」と子どもたちの元気な声が響き、地域の中学生と一緒に「ミニ幸運だんじり」を曳くのを楽しんでいます。

また、同地域にある公立保育園とは1歳児から定期的に交流をもち、5歳児の小学校訪問までさまざまな行事を共に過ごすそうです。

保育所
さいわい
幸保育園

和泉市

地域はひとつ、 子どもはひとつ 子どもたちの可能性を育む



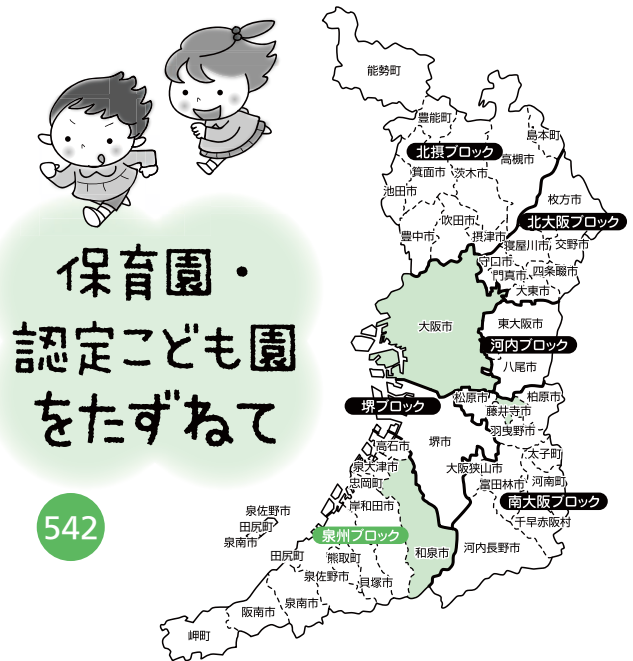
大きなUVネットで暑さもおちやう

の時間も取り入れられました。子どもたちのさまざまな可能性を、保育園と保護者が一緒に育んでいきたいと、松田義人理事長は考えておられます。

「少子化で5園あった地域の幼稚園・保育園も今は2園と寂しいですが、これからも『地域はひとつ、子どもはひとつ』を合言葉に、地域に根ざした保育園を目指していきます」と話されました。（編集委員K・A）



小さい時からだんじり曳きを楽しみます



保育園・
認定こども園
をたずねて

542

天王寺駅前おおぞら保育園は、JR天王寺駅から徒歩6分ほどの閑静な住宅街の中にあります。平成26年4月に設立され、4階建ての新しい施設で定員は70人です。

本園では、屋上の一角で菜園活動を熱心に取り組みられています。商業施設に囲まれた自然の少ない都心の中で、「思いやりや優しさを育みたい」という思いから菜園活動が始まりました。

菜園ではトウモロコシ・玉ネギ・トマト・イチゴ・ゴーヤなど四季折々の野菜や果物を育てており、園児と共に収穫し、調理しています。子どもたちは、世話する大変さや収穫の喜び、食する楽しさを体験し学んでいます。また、少ない収穫の時でも皆で分けあって食べるなど、社会性も身につけることができます。「この菜園活動の中で、野菜の成長の変化に気づき、驚きや喜びから考える力を高め、ワクワクした気持ちで生き生きと遊べる子どもにしたい」と園長先生は話されています。

また、地域の夏まつりに交流を兼ねて職員で参加したり、子育て支援として園内開放を行いオモチャ作りや遊びの紹介など子育て相談を通して、保育園をよく知ってもらえる機会となるように情報の発信場所として努力されています。

最後に、地域の中で信頼される保育園を考えておられて「日々、保護者との関係づくりに職員一人ひとりが話しかけを大切にしっかりと向き合うことが重要で



たくさんの種類の野菜

屋上菜園への取り組み

自然とのふれあいで感じる力、
社会性を身につける

保育所

てんのうじえきまえ

天王寺駅前おおぞら保育園

大阪市



シリーズ●より良い保育士養成のために

— 素敵な能力の行先 —

南海福祉専門学校
児童福祉科

森崎 良尚

腕がツル…声が
カレル…無理…

「先生になりたい！」熱い
気もちを胸に、新入生たちが
最初にぶち当たる試練。
それが『ピアノの弾き歌い』。
9割以上が初心者で本校
ですが、初日から実習や採
用試験を目指して猛特訓が
始まります。

ピアノに触れたこともな
いの、いきなり「かえる
の合唱」の弾き歌いからの
スタート。左手はヘ音記号
で「ド・ファ・ソ」の単音
だけですが、前奏を弾き、歌
に入る前には子どもたちの
顔を見て「さんハイ」（園児

20人設定）、そして弾き歌
う。さらに、演奏途中に子
どもたちの顔を見る。以上
のことを踏まえてフルコー
ラスをノーミスで演奏でき
れば合格。

これを年間30回の授業で、
最低15曲クリアできれば単
位取得（1曲合格4点×15
曲＝60点・5段階評価の2）
となります。

もちろん、曲のレベルは
どんどん上がり、かなり厳
しいはずですが、世間一般
に行われている初心者向け
のレッスンを知らない新入
生にとっては「レッスンと
はこういうものか」と仲間
同士で助けあひながら、悪
戦苦闘の末、平均20曲の合

格率には驚かされています。
これにくわえて、幼稚園
教諭免許取得・採用試験
準備のために、実力に応じ
てバイエル、ブルグミュ
ラー、ソナチネなどの教則
本から数曲が課せられます。
しかし、2年間では保育
所や幼稚園で十分に対応で
きるだけの実力が身に付か
ないことは、言わずもがな
です。

一日の保育時間の中で、
ピアノを弾くわずかな時間
のために、採用後も毎日か
なりの練習時間を費やす必
要があるのです。

それも、慣れない仕事と
同時進行で。

やればできるのに、
なぜ？

めでたく就職。

「先生になりたい！」から
とって、てんてこ舞いの
日々の中、毎月当たり前の
ように、生活の歌や季節の
歌など、数曲が手渡されま
す。

学校での2年間のよう
にがむしやりに練習して、子
どもたちの前で手を震わせ

ながら、無理やりに笑顔を
作って弾いていると思いき
や、「弾けません」「ピアノ
は専門学校から始めたの
で」「苦手なんです」「他
の弾ける曲じゃだめです
か？」「右手だけでもいいで
すか？」などを悪びれたよ
うすもなく、上司や先輩に
言っている新任が多いこと
を就職先の先生方から耳に
して驚いています（新任だ
けではないとも…）。

また「弾かなければなら
ない日に弾けるようになっ
ていない」「弾かなければな
らない日に欠勤する」「苦手
なわりには必死に練習して
いるようすがうかがえない
」などの信じがたい現実
もあるようです。

せっかく2年間頑張った
のに、せっかく先生になれ
たのに、残念な気もちで
いっぱいになります。

実習巡回の際にも同じ現
象があります。実習に向け
て、数々の課題に取り組み
準備を整えているにもかか
わらず、現場では実行に移
せていないといった状況で
す。

実習終了後、校内での実
習反省会では、「自信ないも



ん」「間違えたら評価が悪く
なるから」「やらなあかんこ
と多すぎて無理」「先生たち
の目が怖い」「子どもたちの
前で間違えたら恥ずかし
い」「陰口言われてそう」「頑
張りすぎたら実習最終日ま
で心も体もたへん」など、一
生懸命に訴えてきます。
ピアノに限ったことでは
ありませんが…。

卒業生の言い分

本校は、卒業生がよく訪
れます。個人的にも月に何
人かと連絡を取ったり、
会ったりします。お互いの
たわいもない近況報告から
次第に卒業生たちは悩みや
愚痴へと勢いを増していき
ます。「少しは認めてほし
い」「ほめてほしい」という

結末が多いですね。
プロとして甘いこと、仕
事のできない自分、先生方
に迷惑をかけていること、
わかっていて当然なことが
わからないこと、不安だら
けで大好きな子どもたちを
目の前に笑顔が消えている
ことなど、自分が悪いこと
は百も承知だけど、「ほめて
ほしい」と。

近年の若者教育として、
「わかりやすく的確な指摘
プラスそれに対する評価・
ほめ言葉」さらには、「当た
り前とされていることがで
きたことに対しての評価・
ほめ言葉」が効果的。それ
も「密なコミュニケーション
をとりつつ」が大切だと
されています。

学校という教育の場で教
師はそれに尽力できますが、
現場ではそれぞれの先生方
が多忙で、自らの職務をこ
なすことで精いっぱいにな
るに、今以上の配慮をする
ということはあまりにも過酷
なことでしょう。

そんな現場で生きていく
ための、打たれ強い保育者
を育てることも養成校に課
せられた課題だと言いつ
せ、試行錯誤の日々です。

ブロックだより

OSAKA

北大阪

子どもの未来が
明るくなるように

平成28年度北大阪ブロック
会総会が6月10日、ホテ
ルモントレラ・スール大阪
で開催。85園から105人
が出席しました。
厚生労働省雇用均等・児

童家庭局保育課保育指導専
門官・保育室運営事業専門
官の馬場耕一郎氏が「保育
所保育指針の改定、子ども
子育て支援制度の今後の展
望について」を講演。

まず「保育行政の動向と
課題について」新制度が始
まり、今後どのように動い
ていくのか、たくさんの資
料を基に話されました。補



研修会のように

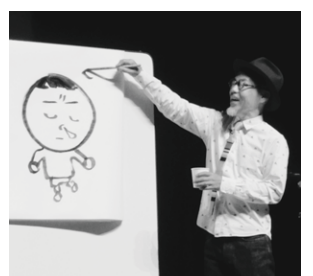
助金申請は、自治体により
まちまちなので、情報を
しっかりとつかむことが大切
と述べられました。
次に平成30年度の保育所

保育指針の改定に向けて、
方向性の主な部分は、(1)
乳児・3歳未満児の保育に
関する記載の充実(2)保育
所保育における幼児教育の
積極的な位置づけ(3)子
どもの育ちをめぐる環境の
変化を踏まえた健康および
安全の記載の見直し(4)
保護者・家庭および地域と
連携した子育て支援の必要
性(5)職員の資質・専門
性の向上を示されました。
「最も大切なことは子ど

泉州

おもしろいつて
生きる力や！

もを守るために指針が強化
されること「子どもの未来
が明るくなるように力を尽
くすのです」という力強い言
葉がとても印象的でした。
懇親会では、馬場氏を囲
んで懇談の良きひとときを
過ごすことができました。
(編集委員H・S)



子どものころの顔を描かれる長谷川氏



さんぽ

去る5月29日、茨木市の
中央公園北グラウンドで、
北摂ブロック保育部会の
職員運動会が行われまし
た。今回で37回目、今年も
52力園、参加者は800人
を超えました。徒競走や障
害物競走などの個人競
技から、園対抗競技や各
市対抗リレー等の団体
競技、全15種目が行わ
れ、参加者は笑顔で大い
に楽しみました。

研修や交流をつながり を広げるチャンスに

より良い地域貢献の土壌育みたい

北摂
ブロック

この運動会は各競技の
実行係、大会中の放送係や
清掃係などの役割を参加
園で分担しています。事前
に3回の準備会が開催さ
れ、各係については2力園
以上で担当をし、当日まで

準備を進めていくことで
園と園との親睦やつなが
りができる、とても有意義
な機会となっています。
この他にもさまざまな
研修会や交流会の中で、園
長だけでなく職員につい

ても他園の方と顔をあわ
せる機会が多くあり、お互
いの情報交換や合同行事
などのつながりをもてる
機会は、園の中だけの関係
性になってしまいかねない
保育の環境において、さま
ざまな意味で拡がりをも
てる要因となっています。
昨年度から進められて
いる『大阪しあわせネット
ワーク』も、このようなつ
ながりがどのくらいの規
模で築けているかがボー

ントになると思います。問
題となるケースに対し各
園単体での対応には限界
があり、的確に対応するに
は支援ができる所へ速や
かにつながる必要がある
場合もあるでしょう。幅広
い対応をするためには、
業種を問わず地域の関
係機関といかに密接な
ネットワークを築けて
いるかが重要になると
感じています。ブロック
の活動や地域との交流事
業などを通じ、なるべく多
くの人と直接関わる機会
をもち、より良い地域貢献
の土壌を作ることができ
ればと思っています。
(もみの木保育園K・K)

最後に「保育園ブルース」
で「保育園行くのイヤヤ」
と歌い続け「お母ちゃんと
一日一緒にいたいだけなん
やん」と最後に子どもの本
音を。子どもの心に寄り添
い続けようという思いの内
に研修を終えました。
(あおい保育園Y・I)

5月21日、貝塚コスモス
シアターで泉州民間保育士
会総会と、「だじゃれプレイ
ク」をテーマに絵本作家の
長谷川義史氏を招いた記念
講演を聴きました。「大阪う
まいもののうた」を手遊び
で合唱し賑やかに開始。
デビュー作の「おじい
ちゃんのおじいちゃんのお
じいちゃんのおじいちゃん」
を、この本はどう読む
のですかとよく聞かれるの
で、読んでみます。お爺ち
んのお経読みで笑いました。
その後、5歳の時に父親
が急死したころの自分の顔
を描き「長谷川義史5歳
ちよつとアホ」と鼻汁を描

かれ大笑いしました。小さ
い時から絵描きになると
思っていたとのこと。「おか
あちゃんがつくったる」は
子どもへの愛情があふれて
おり、胸が熱くなりました。
経済的なことは関係ない。
母の愛情の方が大人になっ
た時に精神的な財産になる
としみじみ語られました。
その後、沖繩の小学生の
安里有生君の詩を絵本に描
いた「へいわってすてきだ
ね」で戦争反対を訴え、最
新の「たこやきたこさぶろ
う」は一番楽しんで読まれ
大いに笑いました。